

一人ひとりが輝く光となって社会で活躍中です。  
 これまでに三重大学という学舎で育った卒業生は約55,000名、  
 僕が「キラキラ卒業生」にインタビューしてきました。  
 おたしの中、取材に協力した卒業生がうなづいてくれました。



SPECIAL EDITION

不可能を可能に



「昭和60年(1985年)日本一長い関越トンネルが開通」  
 トンネルの中ではき出される大量の煤をどうやって処理したらいいのか。空気を汚さず、少しでも維持費を安くするためには? 私たち技術者は試行錯誤を重ね、「粉塵集塵機」を開発し、その結果、長さ11Kmにも及ぶ関越トンネルの建設が可能となったのです(このトンネル開通工事は、NHK放送番組「プロジェクトX」(2005年11月8日放送「悲願の関越トンネル発掘に懸ける」)にも取り上げられました)。

やってみないとわからない!

中学生時代、淡路島から明石海峡まで1,300m泳げると思った。学生時代、伊勢湾の向こうに知多半島が見えた。やっぱり泳げると思った。だから、泳いでみた。何もしていないのに、「できない」「無理だ」と、あきらめてはいませんか?

行動してみよう!

まずは、ちょっとやってみよう。難しく考えなくても、いいのです。一人ではできないことも、目標を一つにして、みんなで協力すれば、きっといい結果が出るはず。ダメだったら、またその時考えればいいのです。

学んでほしい大切なことは、

大学では専門的な知識の習得はもちろんですが、基本的なマナーや人とのつながりを大切にしてください。

大切なことですよ。朝の挨拶はしていますか? 落ちていたゴミ、見過ごしていませんか?



三重大学上浜キャンパスにて  
(三重県津市)

富士電機E&C  
取締役

笹本  
利治  
Sasamoto, Toshiharu



兵庫県生まれ。S48年三重大学工学部電気工学科卒業。学生時代に挑戦した「山登り」がきっかけで、信州松本工場を持つ富士電機(プランニング)就職。クリーンルームのフィルター装置制作に携る。現在は、富士電機E&C。

File. 01

SPECIAL EDITION

ポリオが絶滅する瞬間を見たい!



世界保健機関(WHO)  
西太平洋地域事務局  
拡大予防接種事業課  
医務官

佐藤  
芳邦  
Sato, Yoshikuni



東京都生まれ。S54年三重大学医学部を卒業。同第一外科入局後、国際機関での仕事を希望し、周りの心配や反対を押し切って1988年から3年間ネパールに赴任。その後、1995年世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局拡大予防接種事業課に所属。

File. 02

予防医学の重要性

ポリオ(いわゆる小児麻痺)のワクチンをご存じですか? 1回10円のポリオワクチンを3回投与するだけで、その発病が防げます。(私は、日本を含む西太平洋地域内37ヶ国の予防接種活動の技術支援などを行っています。なかでも「世界ポリオ根絶計画」の世界規模での完遂が、私にとって一番大きな仕事です。

日本に求められる支援

今後我が国が国際機関等において求められる支援は、「技術力や知識を使った支援」を軸として考える時期に来ているような気がします。

人間関係を築く

現在では大学卒業後に、国際社会で活動することが当たり前の時代になってきています。まさに、それまでの培ってきた様々な知識や人との交流が力を発揮するでしょう。

卒業後、三重大学を技術支援母体として、最新知識の供給源として、あるいは人との関わりの場として再度利用させてもらう事が確実に多くなるでしょう。そのためにも、在学中に自分の専門以外の様々な研究や活動にも積極的に広く関わってください。興味ある分野を広げ、知識の拡大を図ると共に、「人との関わり」を持つておくことはとても大切なことだと思います。クラブ活動も大きなチャンスです(ちなみに私の妻とは、クラブ活動で知り合いました)。人間関係の広がりや、人生の大きな手助けとなると信じています。

国際社会へ羽ばたこうとしているあなた!  
私が待つ国際機関「WHO」で、「夢」を探しませんか?



関西国際空港国際線ターミナルにて  
(大阪府泉佐野市)

## ★ ヒトの偉大さを再確認

トヨタ自動車株式会社  
パートナーロボット開発部  
第3設計グループ長

山田  
Yamada, Koji  
耕嗣

File. 03



大阪府生まれ。三重大学工学部に三年次編入。H2年三重大学工学部卒業。H4年同大学院工学研究科終了。H9年同博士後期課程（社会人入学）修了。H15年トヨタ自動車入社後、ロボット開発部門で活躍。

2005年に開催された「愛・地球博」で大活躍したパートナーロボットをご存じの方は多いと思います。私は、その開発に携わりました。

### 「ロボット」とは？

「ロボット」と一口に言っても、モノづくりの産業ロボットを始め、人の生活をサポートするパワーアシストロボットまでその形態は様々です。

### 人間は、考える

人間は考えながら行動します。3歳児の知能でも、すでに自分で考えて行動することが可能となっています。ロボットは、決められた作業の作業量やスピードはヒトと比べものにはなりません。が、「あれを、取って」と頼んでも、「？」。代名詞は通用しません。そして、データが多いほど、ロボットが行動を起こすまでの時間は長くなってしまいます。

### ロボットと共に創る

ロボットのリスクがどこまで認められるか。

ヒトはしばしばミスをしますが、「人間やから、間違いもあるよ。」と許されますよね。ところが、お手伝いロボットが家の中で暴れ出してしまったら、どうやって止めればいいでしょう？もし、ロボットカーが暴走したらどうなるでしょう？

その安全性とルール作りが求められています。その上で、ヒトとロボットの共生できる未来を創っていきたくと思っています。



トヨタ会館 パートナーロボットと  
(愛知県豊田市)

単位を取るため、とにかく思いっきり勉強しましたね。でも、遊ぶ時はしっかり遊ぶ。「時間」は有効に！

## ★ 「人形」と、そしてそれを観てくれる「ひと」が好きです



お茶と人形劇の専門店  
「茶問屋 ショーゴ」

【URL】 <http://www10.ocn.ne.jp/~shogo.tp/>

横山  
Yokoyama, syogo  
昭吾

File. 04



静岡県生まれ。S56年三重大学農学部を卒業。実家で「茶の栽培」をすると共に、北は北海道から、南は沖縄まで、日本各地で人形劇の公演を行っている。

人形劇。あまり、聞き覚えがなくても、「ひょっこりひょうたん島」と言えば、「ああ…」と、頷かれる方も多いのではないのでしょうか。

### 「つくし」との出会い

今でも三重大学では、人形劇団「つくし」というサークルが活躍しています。私は4年間の大学生活をこのサークルでとても楽しく有意義に送りました。卒業後、実家の茶業を継いだのですが、学生時代の「人形劇」が忘れられず、人形劇団を結成しました。以来、おいしいお茶づくりに取り組みながら、人形劇フェス参加や、頼まれて日本各地に公演に出かけています。

### 人形劇の魅力

人形劇のおもしろさはとても一言では言い表せません。

私の中で、人形たちがいきいきと活動します。そして、子どもも大人も一緒に笑ったり泣いたりしてくれます。子どもたちは、人形たちが現れるだけで、「ウフフ」ってうれしくなるようです。

### 2足のワラジ生活

最高に贅沢なライフスタイルなのでしょうね。私が住んでいる「静岡県牧之原市」は日本でも有数の茶の産地です。夫婦で営む「お茶と人形劇の専門店 茶問屋 ショーゴ」が私の生活です。夏までは緑いっぱいの畑でおいしいお茶作りに専念し、お茶作りが終わる頃から今度は人形とともに大好きな「ひと」と出会うことができます。いつか、「じいじとばあばの人形劇団」と呼ばれるようになるかもしれません。

ほんの小さな「出会い」が、あなたの人生を豊かなものにしてくれるかもしれません。



「茶問屋 ショーゴ」の茶畑にて  
(静岡県牧之原市)

★ 心豊かな「女性」を育てる

セントヨゼフ女子学園  
高等学校中学校  
教諭

伊藤  
和  
美  
Ito, Kazumi



三重県生まれ。S59年三重大学教育学部卒業。中高一貫教育の女子高で「美術科」を担当。

File. 05

「造る」楽しみを

ものを造ることって、難しいことだと思いませんか？

私は小学校の「図工」の授業で、紙粘土、カッター、のり、はさみなどを使って、「ものづくり」の楽しさと感動を教えてもらいました。

自然から学ぶ

自然には、理科から学ぶ自然観察もあれば、心や体で感じて学ぶ自然もあります。

美しいものを美しいと感じることは、人の心を豊かにしてくれます。

美しい風景や、何気ない日常の生活の中で得られた感動は、個々の人生観や価値観に大きな影響を与えるでしょう。

自然が育てる「優しい心」

私は子供たちに肌で季節を感じ、「自然」と実際にふれあってほしいと思います。豊かな自然の恵みは、きっと、優しい心を育ててくれることでしょう。

自立し、社会に出て貢献するとともに、「母」となる女性を育てていくことが、私に与えられた使命だと思っています。



セントヨゼフ女子学園高等学校美術室(三重県津市)

Communicationを大切に、実際にふれあってみてください。素晴らしい出会いがあると思います。

★ 人と、人とのつながりを大切に

(株)百五銀行 上野支店  
支店長代理

小林  
明  
Kobayashi, Akira



File. 06

三重県生まれ。S63年三重大学人文学部卒業。同年(株)百五銀行入行。卒業後、人文学部同窓会副会長として、卒業生と大学との重要なパイプ役を務める。

キャプテンとして

学生時代、バスケットボール同好会のキャプテンとして、チームをまとめていました。いつも練習用のコート確保に苦労していました。ある時、「清里合宿」の企画を任せられ、張り切りすぎた私は、練習に重点を置きすぎてしまいました。実は、その内容はメンバーが期待していたものとは異なっていたのです。

気持ちを理解する

自分がいいと思ってもそれだけではダメなのです。

学生時代での様々な失敗や体験は、私のその後の人生に大きな財産を与えてくれました。卒業後、私は「銀行マン」という職業に就き、緻密さとともに、人の気持ちをなにより理解し、大切にすることを求められました。学生時代に培われた仲間意識、また課外活動でのリーダーシップや責任感などは、社会に出てから、大いに私の力となったのです。

情報化時代の中で

今は、顔と顔を合わせずとも用が済んでしまいます。それだからこそ、私はなによりもお客様との対話を、一番大切にしています。



百五銀行 上野支店(三重県伊賀市)

学生時代のチャンスを活かし、いろいろな資格や技能を身につけることをお勧めします。

★ 自分探しからの挑戦

萩  
美香  
Hagi, Mika



File. 07

三重県生まれ。H18年三重大学人文学部卒業。立教大学大学院進学。2007年度ミス日本グランプリ。

2007年度ミス日本

挑戦!

22年間、三重県から出たことがなかった私でしたが、大学院進学のため東京へ。初めての1人暮らしで味わったのは、自信喪失と挫折でした。このままではいけないとチャレンジしたのが、3回目のミス日本コンテストの応募でした。

変身!

地区代表グランプリで選ばれたあとは、ミス日本グランプリに向けて「能」による所作・立ち居振るまいなどの「勉強会」の日々でした。自ら求め努力することにより「自分が変わっていく」ことが出来たように思います。

また、私が何より関心のあるものはボランティア活動。三重大学では、スペシャルオリンピックスの企画で、リーダーを務めました。うれしいことに、このミス日本の活動にも、ボランティア活動が含まれています。

未来を切り拓く

今後は、ミス日本として、日本文化の神髄をみなさんに伝えていくことが私に与えられた使命です。そして、このチャンス



ミス日本授賞式(東京都)

を活かして、自分自身の手で新たな未来を切り拓いていきたいと思っています。

「自分から」探してみてください。きっと、何かを感じる事が出来ますよ。